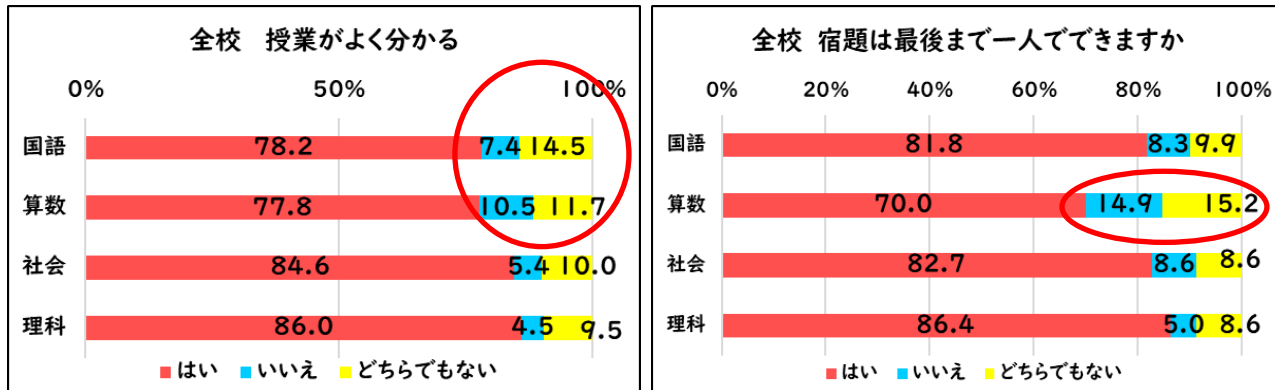


学校と家庭 チームで目指す子どもたちの学力向上

鳥取市立賀露小学校

○学校だよりでもお伝えしてきましたが、学力向上は本校の大きな課題です。本校が実施した「学習アンケート」、「生活時間調べ」、これまでの「かけ算九九の定着率調査」、「音読・暗唱・視写」の結果と算数検定の進捗状況などから見てきた、賀露小学校児童の生活・学習の現状と課題をもとに、今後の学力向上に向けての取組を考えてみたいと思います。

1【学習アンケート】：①授業がよく分かる ②宿題は最後まで一人でできますか

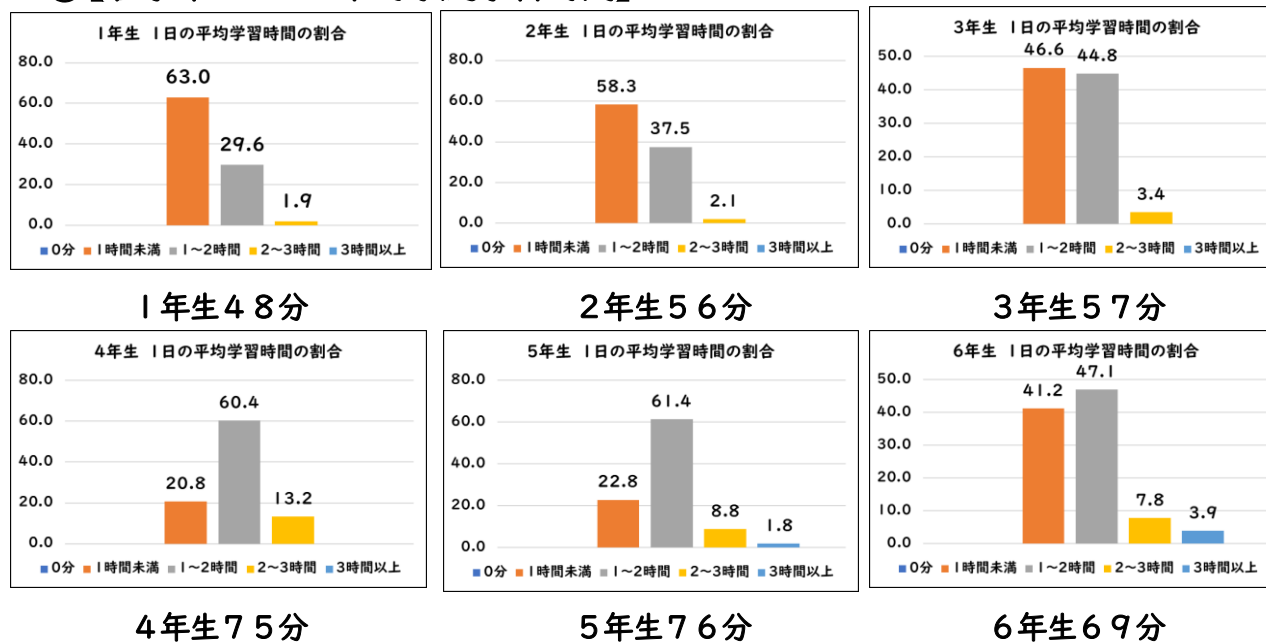


<現状と課題>

- ①約2割の児童が、国語・算数の授業がよく分かっていない。
- ②約3割の児童が、算数の宿題を一人でやることに不安を抱えている。

2 生活アンケート

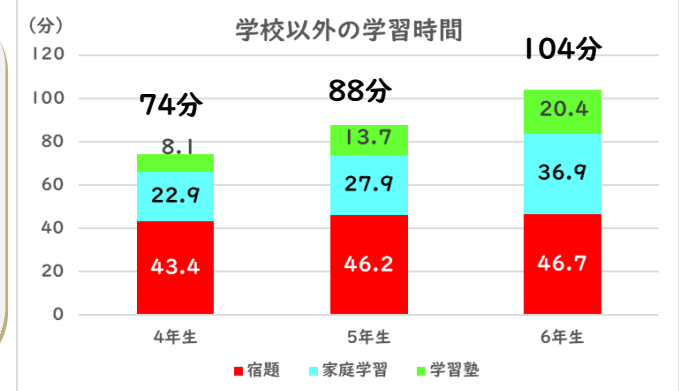
①【各学年の1日の平均家庭学習時間】



<現状と課題>

- ①高学年の学校外の1日の平均学習時間は、全国平均に比べて短い。
- ②学年が上がるほど、全国平均※との差が広がっている。

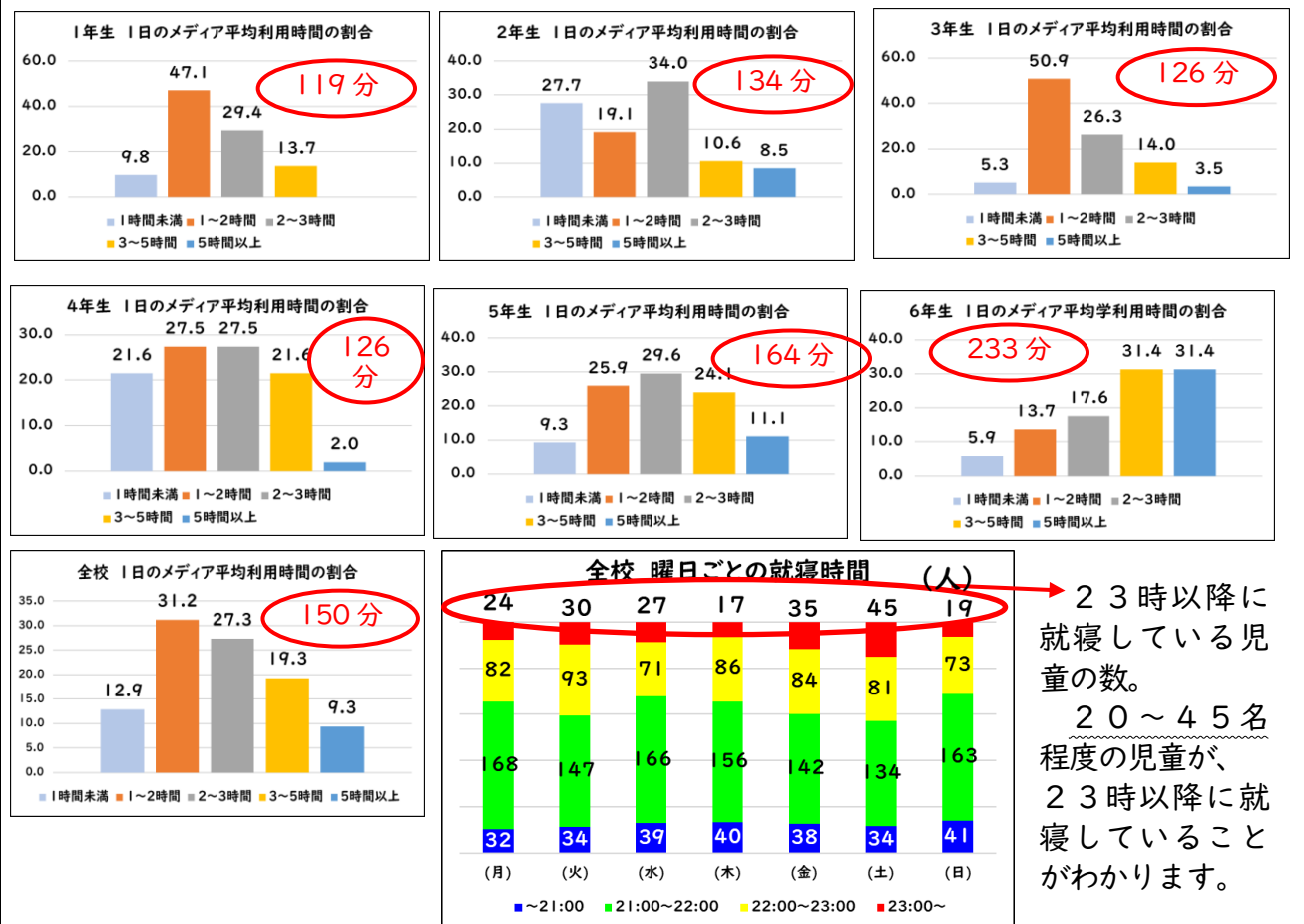
※出典：東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する調査2017」より



賀露小 75分 (4年) 76分(-12分) (5年) 69分(-35分) (6年)

②【各学年の1日のメディア平均利用時間】

※メディア：テレビ、ゲーム、タブレット、スマホ (グラフの中の赤字は各学年の平均利用時間)



→ 23時以降に就寝している児童の数。20~45名程度の児童が、23時以降に就寝していることがわかります。

<現状と課題>

- ①7割以上の児童のメディア使用時間が1日平均2時間以上となっている。(日本小児科学会の目安では、メディアと接触するのは1日2時間までが望ましいとされています。)
- ②2年生以上の学年では、1日平均5時間以上メディアと接している児童が見られる。6年生ではその数が3割を超えている。

<生活アンケートから見てきた課題>

- ①学校外での1日の学習時間は全国平均より短く（5年生以上）、メディア使用時間は長い。
- ②メディア使用時間が長くなるに伴い、就寝時間が遅くなる傾向がある。

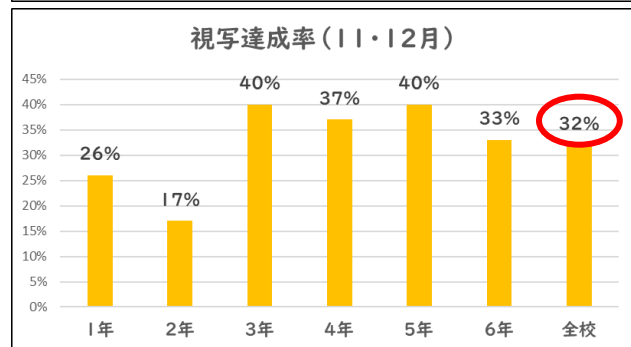
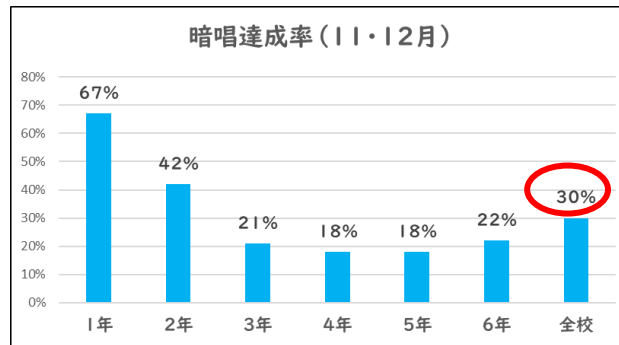
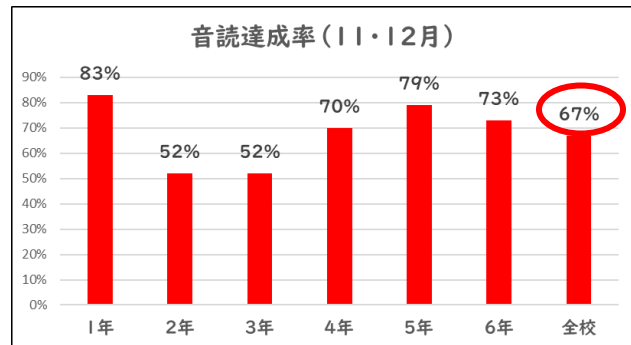
3 【かけ算九九各段別正答率】

学年	段別正答率								
	2の段	3の段	4の段	5の段	6の段	7の段	8の段	9の段	全段
全校	99.5	98.6	97.2	99.6	94.3	91.4	89.7	94.3	95.6

<現状と課題>

- ①かけ算九九を学習した2年生以上のすべての学年に、かけ算九九が定着していない児童がいる。
- ②特に、6の段以降の段の定着率が低い。
- ③かけ算九九が定着していないため、3年生以降に学習するわり算や小数、分数の計算にも時間がかかったり、計算できなかつたりするなど支障が出ている。

4 12月までの【音読・暗唱・視写達成率】と算数検定の進捗状況について



月	6月	10月	12月
10～1級	122	71	46
1～10級	25	135	160
11～20級	0	17	14
21～24級	0	1	11
10級～24級	147	224	231

現在の達成率	→	目標達成率
音読 67%	→	80%
暗唱 30%	→	50%
視写 32%	→	50%

検定合格者は増加している

学力向上へ向けて(保護者の皆様にご協力いただきたいこと)

賀露小学校では、以上のような現状を踏まえ、子どもたちの学力向上へ向けて、様々な取り組みを行っています。そのポイントは、10月の学校だよりでもお伝えした、点数や数値で測れる「見える学力」とそれを支える「見えない学力」(「言語能力」「家庭学習習慣」「根気と自制心」「社会性、コミュニケーション能力」等)両面からのアプローチです。

「見える学力」と「見えない学力」をつける取り組みには、授業改善や宿題内容の吟味など、その多くが、学校がその責任において行うべきものです。しかし、ご家庭の協力が必ず必要なもの、ご協力が得られれば、より高い教育効果が期待できるものがあることも否定できません。以下、具体的にご家庭でご協力いただきたいことをお伝えしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



(1) 《見える学力の向上に向けての取組》

- スキルタイム (8:10～8:25)
 - ・算数検定：計算力を高めるために目標達成に合わせて、進級・昇段テストを実施。
 - ・音読・暗唱：低学年2教科(国・算)、3年生以上4教科(国・算・社・理)の各教科の大切なところ(大切な言葉・表現や公式、問題の解法等)を音読・暗唱することで、定着させる。
- 楽しく学力アップ教室 (13:05～13:20)
 - (児童会の5・6年生や教員、保護者・地域のボランティアの方の力を借りて実施)
 - ・昼休憩に、全学年の国語・算数の宿題で分からなかった問題の解決支援
 - ・音読・暗唱のチェック。

【お願い】毎日、「音読暗唱カード」を使って音読・暗唱を聞いてやってください。
このカードは、教科書の大事なところを、厳選して集めたもので、定着すれば、その学習効果はとても大きいのです。自学で視写をしても力が付きます。(家事や用事をしながらでも構いませんので、聞いてやってください。)

(2) 《見える学力の土台となる、見えない学力の定着に向けての取組》

- 「言語能力」の向上
 - ・理解できる語彙、使いこなせる語彙の拡充。
- 「規則正しい生活・家庭学習習慣」の確立とメディアコントロール力の育成
 - ・決まった時刻に決まった時間勉強をするという家庭学習の習慣づけ
 - ・子どもが過度にメディアに触れないようにメディアコントロールを行う

【お願い】折に触れて、語彙を増やす機会をつくってください。
・親子で一緒に読書をしたり、クイズ番組を見たり、意味の分からない言葉を調べる。

【お願い】子どもに望ましい生活習慣・学習習慣をつけてやってください
・決まった時刻に決まった時間時間に机に向かう習慣付けをしてやってください。
・就寝時刻(低学年:21時まで 中学年:21時半まで 高学年:22時まで)を目安にメディアに触れる時間をコントロールし、十分に学習時間が取れるように、家庭でのルール作りをお願いします。